

拜啓 余寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、二年間、温かい支援を、本当にありがとうございました。

“保育士になりたい”という夢を叶えるため、二年間通った短大生活も、三月には卒業し、長年の夢であった“保育士”として、今春から働かせていただきます。この二年間は、学業はもちろん、ボランティア、アルバイト活動、サークル活動、アルバイトなど、様々なことに力を入れて頑張りました。“保育士”として働くための技術だけでなく、“社会人”になるということも意識しながら、社会経験も重ねることができました。学校生活では、専門的知識を深めるとともに、実際に保育の場で、実習を通して学びました。楽しいこと、新しく発見した保育のやりがいはもちろんのこと、苦学や大変さにも触れましたが、同じ道を目指す仲間と励まし合い、高め合いながら頑張りました。ここまでくることができました。二年間という長いようで短か、た短大生活でしたが、一日一日に意味があり、一日一日の努力の積み重ねは、本当に大切であるということを実感しました。

夢を叶えるために頑張る事ができたのは、周りの人の支えがあ、
たからであり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。毎月、支援を
していただく度に、自分だけの夢ではないこと、支えがあるからこそ
夢を追うことができるということが頭に浮かび、頑張ることができ
ました。保育士になりたいという夢が叶えられたのも、皆様の支え
があったからだと思います。そのことを忘れず、ことなく、社会に出
てからも、常に目標をもち、自分を高めたいと思います。ま
た、私が多くの人に支えられてきた分、私も人の支えになることがで
きるよう、思いやりの気持ち、感謝の気持ちを忘れず、過ごしていきた
いと思えます。

末筆ながら皆様の健康とご多幸を、バよりお祈り申し上げます。

敬具

平成二十七年二月四日